

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200064		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心しらかべ		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字白壁244番地1		
自己評価作成日	平成30年2月23日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成30年3月16日	外部評価確定日	平成30年5月22日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居者様本位の介護を第一としており、その人がその人らしくご本人様のペースで楽しく生きがいを持ち過ごして頂けるように援助を行っている。施設として地域との交流を大事にし地域の行事があれば積極的に参加をしたり、消防訓練や夏祭りなど大きな行事の際には近隣の方にもご案内し参加をして頂いている。</p> <p>日々の生活の中にも楽しみを持っていただけるようにレクリエーションや行事を職員全員で考案したり、踊りや傾聴ボランティアの方に定期的に訪問して頂き入居者様も行事やイベントを楽しみにされている。</p> <p>又、医療面に関しても協力医療機関である仁徳会今村病院と訪問看護ステーション安心との連携により入居者様の健康管理や急変時の迅速な対応が出来、安心して生活を送れるように過ごして頂いている。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>グループホーム安心しらかべが特に力を入れている点として、入居者本位の介護をめざしている事である。入居者の個性を重視しその人のペースに合わせた自由な暮らしを支援したいと考えている。また、地域との交流があげられる。近隣の神社ではほんげんぎょうや七夕まつり、時代祭等多彩な催しがあり、昔からの伝統行事として入居者が参加されている。災害時の避難訓練を始めホームの行事にも住民に参加協力してもらっている。母体が医療施設であり、毎日の往診があり、気軽に相談ができる事や、夜間の急変時には会社が運営する訪問看護師へ連絡し対応してもらえることで、本人や家族のみでなく職員の安心ともなっている。</p>
---

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時に理念の唱和を行い職員全体でその理念を念頭に日常業務で実践する様に努めている。	朝礼時に理念の唱和を行い職員全体でその理念を念頭に日常業務で実践する様に努めている。	昨年これまでの理念を、全職員で見直し変更した。自分たちで考え作り上げた理念を実践しようという意識が高まり、職員のやる気に繋がった。ケア会議で理念を基にケアを振り返る機会がある。又介護計画作成時にも理念に照らし合わせ作成している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームでの時節の行事等には地域のボランティアに参加して頂いている。地域の行事の際には職員が付き添い、入居者と参加する事で地域との交流を図っている。	ホームでの時節の行事等には地域のボランティアに参加して頂いている。地域の行事の際には職員が付き添い、入居者と参加する事で地域との交流を図っている。	ホームの近隣は企業、会社等が多く、日常的な近所づきあいまでに至らず、年間行事としての地域交流を計画し充実させたいと考えている。近くの神社のほんげんぎょうや流鏝馬、七夕まつり等昔ながらの伝統行事に参加している。地区の自治会に加入し、避難訓練時には住民の協力を得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2ヶ月に一度の運営推進会議の際にはご家族や地域の方々、保険者に参加して頂き情報交換を行い認知症の理解や支援に活かしている。	2ヶ月に一度の運営推進会議の際にはご家族や地域の方々、保険者に参加して頂き情報交換を行い認知症の理解や支援に活かしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設の事業計画や行事、利用者の状況報告を行っている。参加して頂いた方には発言をしやすいように一人ひとり声をかけている。会議の中で頂いた意見や情報を元に職員で話し合いサービス向上に繋がる様に努めている。	施設の事業計画や行事、利用者の状況報告を行っている。参加して頂いた方には発言をしやすいように一人ひとり声をかけている。会議の中で頂いた意見や情報を元に職員で話し合いサービス向上に繋がる様に努めている。	関係者が集まり定期的に会議を開催している。ホームの行事や運営報告が主で、管理者は内容が薄く、課題と感じている。しかし、会議で避難訓練の報告、反省会を行い、参加した区長や近隣住民から意見をいただき参考となった。また行政からは介護保険についての説明も行われている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	鳥栖広域介護保険組合や地域包括支援センター、区长、民生委員、地域住民の方と情報交換を行い、協力関係の構築に努めている。地域ケア会議やネットワーク会議に参加して、事業所の実績やサービスを伝えている。	鳥栖広域介護保険組合や地域包括支援センター、区长、民生委員、地域住民の方と情報交換を行い、協力関係の構築に努めている。地域ケア会議やネットワーク会議に参加して、事業所の実績やサービスを伝えている。	市が主催する介護予防講習会に参加したり、地域包括支援センターを中心に地域連携を図るため地域ケア会議に参加し、担当者との関係構築に努めている。ホームの実情を伝えたり、介護保険制度改正にあたり質問をする等、気軽に相談できる。ホームの空き情報も伝えている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について外部での研修へ参加したり、施設内の勉強会を行い理解を深めている。	身体拘束について外部での研修へ参加したり、施設内の勉強会を行い理解を深めている。	身体拘束廃止マニュアルを作成し、拘束のないケアを実践している。広域での研修会に参加し、ホームでも研修の年間計画により勉強会を行い、職員の周知を図っている。ベッド下にセンサーマットを使用しているが、それによってトイレへの介助ができたり、転倒予防ともなっている。入居者にとって抑制とならないよう職員で注意し、見守りに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について外部での研修へ参加したり、施設内の勉強会を行い理解を深めている。カンファレンスや朝礼時でも伝達し細心の注意を払い虐待防止に努めている。	虐待防止について外部での研修へ参加したり、施設内の勉強会を行い理解を深めている。カンファレンスや朝礼時でも伝達し細心の注意を払い虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加したり施設内での勉強会を行い職員の学ぶ機会を設けている。	外部研修に参加したり施設内での勉強会を行い職員の学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居希望者には事前に施設見学や十分な説明を行い双方が納得の上で契約を行っている。	入居希望者には事前に施設見学や十分な説明を行い双方が納得の上で契約を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議やサービス担当者会議、ご家族の面会時にはご意見や要望を伺っている。また、玄関に意見箱を設置して、ご意見や要望があれば話し合いを行い対処している。	運営推進会議やサービス担当者会議、ご家族の面会時にはご意見や要望を伺っている。また、玄関に意見箱を設置して、ご意見や要望があれば話し合いを行い対処している。	家族の面会時には、入居者の現況を伝え意向や希望をうかがう等、気軽に意見を言ってもらえるよう配慮している。これまでに環境面に関する意見があり、改善に努めている。またホームの理念に「本人本位」を掲げ、本人の望む暮らしを支援するため、日頃より意向の把握に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンスや意見の提案があればその都度話し合いを行っている。その時出た意見や要望を運営に反映出来るように取り組んでいる。	毎月のカンファレンスや意見の提案があればその都度話し合いを行っている。その時出た意見や要望を運営に反映出来るように取り組んでいる。	管理者と職員は自由に意見交換できる関係であり、日頃から提案等が出されている。毎月の全体会でも活発に意見が出され業務改善やケアの改善につながっている。必要に応じ個人面談を行い、職員の勤務希望等も配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	外部研修に参加の希望があれば対象者に参加を促したり、可能な限り勤務時間内でいける様に働きやすい環境を作れるようにしている。	外部研修に参加の希望があれば対象者に参加を促したり、可能な限り勤務時間内でいける様に働きやすい環境を作れるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員に法人内外の研修の情報を提供し個人にあった研修及び必要と思われる研修があれば声掛けし参加できる機会を作っている。参加した職員は他の職員に向けての勉強会を開催し個々のスキルアップできる場を提供している。	職員全員に法人内外の研修の情報を提供し個人にあった研修及び必要と思われる研修があれば声掛けし参加できる機会を作っている。参加した職員は他の職員に向けての勉強会を開催し個々のスキルアップできる場を提供している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での職員の相互訪問、地域で行われる地域ケア会議やネットワーク会議に参加し、交流を深め、事例検討会などを通してサービスの質の向上に努めている。	法人内での職員の相互訪問、地域で行われる地域ケア会議やネットワーク会議に参加し、交流を深め、事例検討会などを通してサービスの質の向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員一人ひとりに担当を持ち、コミュニケーションの機会を増やし入居者の方が安心できるように職員全体で取り組んでいる。	職員一人ひとりに担当を持ち、コミュニケーションの機会を増やし入居者の方が安心できるように職員全体で取り組んでいる。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望や意見を事前にしっかりと聞き、施設として説明を行い家族の希望に沿うケアが出来るように努めている。	家族の要望や意見を事前にしっかりと聞き、施設として説明を行い家族の希望に沿うケアが出来るように努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族と話し合いを行い、計画作成担当者を中心に全職員で話し合い、必要な支援を提供出来るよう努めている。	本人・家族と話し合いを行い、計画作成担当者を中心に全職員で話し合い、必要な支援を提供出来るよう努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と入居者と一緒に作業を行ったり、出来ることは可能な限り本人に行って頂き、本人本位の支援を提供出来るように努めている。	職員と入居者と一緒に作業を行ったり、出来ることは可能な限り本人に行って頂き、本人本位の支援を提供出来るように努めている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の要望や意見を聞き、情報を共有する事で共に入居者を支えていける関係作りに努めている。	家族の要望や意見を聞き、情報を共有する事で共に入居者を支えていける関係作りに努めている。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入院時に家族や本人から得た情報を元に、友人や馴染みの場と関係が途切れないように、入居者・家族と相談し、年賀状・ボランティアの訪問など支援に努めている。	入院時に家族や本人から得た情報を元に、友人や馴染みの場と関係が途切れないように、入居者・家族と相談し、年賀状・ボランティアの訪問など支援に努めている。		アセスメントで、生活歴、馴染みの人や場等の把握をし、日頃の会話に役立てている。近隣から入居されている方は、毎日、知人友人の面会があるが、遠方在住の方は面会が少ないので、手紙を書いてもらう等の支援をしている。美容室や買い物、外食などの希望時は、家族の協力を得ている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎朝の体操や日々のレクリエーションなどコミュニケーションの場を提供し交流が図れるようにしている。	毎朝の体操や日々のレクリエーションなどコミュニケーションの場を提供し交流が図れるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も施設行事のご案内、参加の促しや必要に応じて継続的に連絡を行うように努めている。	退去後も施設行事のご案内、参加の促しや必要に応じて継続的に連絡を行うように努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者一人ひとりに担当を決め、入居者の希望や要望の把握に努めている。困難な場合には日常のケアや状態観察・家族からの情報収集を行い出来るだけ本人本位に検討している。	入居者一人ひとりに担当を決め、入居者の希望や要望の把握に努めている。困難な場合には日常のケアや状態観察・家族からの情報収集を行い出来るだけ本人本位に検討している。	職員を担当制にし2~3人受け持っている。関わりが深くなり、個別の相談事も多くなっている。昼食時や入浴時は、入居者がゆっくりくつろいで、職員と一対一で話が出来る時間でもある。行きたいところ、食べたいもの等希望を聞き、バルーン見学やお菓子作りをする等楽しみにつながった。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の話を傾聴したり家族の方より話を伺う事で個々の生活歴の把握に努めケアに反映できるように努めている。	本人の話を傾聴したり家族の方より話を伺う事で個々の生活歴の把握に努めケアに反映できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝礼の時の申し送りや、状況を記録に残し職員間での情報交換やカンファレンスなど、その都度話し合い現状を把握した上で適したサービス提供に努めている。	朝礼の時の申し送りや、状況を記録に残し職員間での情報交換やカンファレンスなど、その都度話し合い現状を把握した上で適したサービス提供に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意見や要望を把握・確認し職員や関係者で話し合いを実施し本人本位の介護計画を作成している。又、毎日実施モニタリングで評価をし定期的に見直しを行っている。	本人、家族の意見や要望を把握・確認し職員や関係者で話し合いを実施し本人本位の介護計画を作成している。又、毎日実施モニタリングで評価をし定期的に見直しを行っている。	担当者会議に家族の参加を呼び掛けているが、参加できない場合は、事前に面会時や電話で意向を聞き、本人本位の計画を作成している。本人の意向が聞けない事も多く、日頃の何気ない会話で情報把握に努めている。3か月ごとにモニタリング、評価を行い、入退院時にも見直しをしている	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録、業務日誌など日々の記録をし、職員で情報の共有を行っている。又、日々の記録は介護計画に活かしている。	個人記録、業務日誌など日々の記録をし、職員で情報の共有を行っている。又、日々の記録は介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	関係医療機関と連携し可能な限り柔軟な支援サービスを実施出来るように取り組んでいる。	関係医療機関と連携し可能な限り柔軟な支援サービスを実施出来るように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議の際に、地域行事の情報を把握したり、地域の行事に積極的に参加をし楽しんで頂けるように取り組んでいる。	運営推進会議の際に、地域行事の情報を把握したり、地域の行事に積極的に参加をし楽しんで頂けるように取り組んでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入院前からのかかりつけ医がある場合は出来る限り継続できるようにしている。また、家族や本人の希望があれば協力医療機関の在宅総合診療を利用し適切な医療の提供が受けられるように支援している。	入院前からのかかりつけ医がある場合は出来る限り継続できるようにしている。また、家族や本人の希望があれば協力医療機関の在宅総合診療を利用し適切な医療の提供が受けられるように支援している。	入居時に、これまでのかかりつけ医に受診できる事を説明しているが、ホームの協力病院からは往診があり、緊急時の対応や入退院時の連携が容易なことから、協力医療機関に変更される場合が多い。それが本人や家族の安心につながっている。精神科等への受診は、家族の付き添いを基本としているが、無理な場合は職員が同行し、医療機関への情報提供に努めている。同会社の訪問看護事業所とも契約し健康管理の充実を図っている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者の状態をしっかりと観察し、異常の早期発見に努め、状態の変化があれば訪問看護師と連携を図り適切な対応が出来るよう指示を仰ぎ支援している。	入居者の状態をしっかりと観察し、異常の早期発見に努め、状態の変化があれば訪問看護師と連携を図り適切な対応が出来るよう指示を仰ぎ支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の際は、しっかりと情報交換を行うようにしている。入院時は職員が病院へ面会へ行き情報交換を行ったり、早期退院が出来るように努めている。	入退院時の際は、しっかりと情報交換を行うようにしている。入院時は職員が病院へ面会へ行き情報交換を行ったり、早期退院が出来るように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化や終末期について本人や家族の意思を確認している。入居者の状態の変化に応じてその都度話し合いを行い家族・医師・職員全員で方針を共有している。	入居契約時に重度化や終末期について本人や家族の意思を確認している。入居者の状態の変化に応じてその都度話し合いを行い家族・医師・職員全員で方針を共有している。	重度化した場合や看取りの対応について指針を作成し、入居時に説明し同意を得ている。入居の段階で看取りの希望をされる方は少ないが、回復の見込みがなく、重度化した場合には、段階的にホームでできる事や医師の説明を受けて、ホームで最期を迎える事を希望される場合が多い。これまでの看取りは3件あった。訪問看護や医師の夜間往診等ができ、本人や家族はもとより職員の安心ともなっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを作成し、緊急時の連絡先や対応を職員全員で把握している。また、定期的に勉強会を行っている。	緊急時マニュアルを作成し、緊急時の連絡先や対応を職員全員で把握している。また、定期的に勉強会を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、消防訓練を実施しており、より実践に近い形で消防に立ち会ってもらったり、区長や近隣の地域の方にも参加して頂いている。	年に2回、消防訓練を実施しており、より実践に近い形で消防に立ち会ってもらったり、区長や近隣の地域の方にも参加して頂いている。	定期的に消防署の指導を受けながら、夜間を想定した災害時の避難訓練を実施している。区長を通じて近隣の住民へも回覧板で依頼をして協力を得ている。参加された住民と反省会を実施し、消防署の講評を受けている。備蓄の確保や避難場所も決めている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇の外部研修や勉強会を行い言葉遣いに注意し、一人ひとりに合わせた声掛けや対応に配慮している。	接遇の外部研修や勉強会を行い言葉遣いに注意し、一人ひとりに合わせた声掛けや対応に配慮している。	職員は、毎年接遇について事業所内外での研修に参加している。県の認知症介護研修に参加した折、職員も環境の一部ととらえる事を学び、職員間で共有し、ケアの向上を目指している。言葉かけや職員の声のトーン等気になれば、管理者がケアの中で指導する場合もある。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の思い、希望を日々の中で聞き取りその人に合ったサービスを提供出来るように努めている。	個々の思い、希望を日々の中で聞き取りその人に合ったサービスを提供出来るように努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の活動の時間を決めているが、参加は強制せず本人の思いを尊重している。入居者中心とし、一人ひとりに合った過ごし方をサポートしている。	ある程度の活動の時間を決めているが、参加は強制せず本人の思いを尊重している。入居者中心とし、一人ひとりに合った過ごし方をサポートしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問美容に来て頂き、その人らしい身だしなみが出来るよう支援している。	定期的に訪問美容に来て頂き、その人らしい身だしなみが出来るよう支援している。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材と献立についてはクックチルシステムを導入している為、あらかじめ決まっているが副食のつぎ分けや、食器拭き、台拭きなどして頂いている。毎朝のレクリエーション終了時に本日の献立をお知らせし、食事を楽しめるようにしている。また、月1回レクリエーションでおやつ作りを行っている。	食材と献立についてはクックチルシステムを導入している為、あらかじめ決まっているが副食のつぎ分けや、食器拭き、台拭きなどして頂いている。毎朝のレクリエーション終了時に本日の献立をお知らせし、食事を楽しめるようにしている。また、月1回レクリエーションでおやつ作りを行っている。	食事はクックチルシステム(加熱調理済み冷蔵食品)を導入している。導入して2年になるが、調理時間短縮となり、入居者に関わる時間が増えたことや、常食のみでなくソフト、ゼリー食などの形状別に注文ができる事で嚥下、咀嚼状況に合わせ、安全な食事と栄養の確保の面で充実した。ご飯や汁物はホームで作り、入居者も配膳や後片付け等職員と一緒に手伝ってもらっている。職員も同じ食事を一緒に食べている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの水分量・食事量の記録をし、1日トータルでの摂取量も記載している。また、摂取量が少ない入居者には本人の好きな飲み物を提供したり、高カロリー食品で補ったりと、入居者の方に合った方法で支援している。	一人ひとりの水分量・食事量の記録をし、1日トータルでの摂取量も記載している。また、摂取量が少ない入居者には本人の好きな飲み物を提供したり、高カロリー食品で補ったりと、入居者の方に合った方法で支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は入居者の方に合った方法で口腔ケアを行い、清潔保持に努めている。必要に応じて訪問歯科に往診に来て貰い口腔内の確認を行って頂いている。	食後は入居者の方に合った方法で口腔ケアを行い、清潔保持に努めている。必要に応じて訪問歯科に往診に来て貰い口腔内の確認を行って頂いている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	チェックシートを用いて排泄パターンを把握し、トイレの排泄を基本とし入居者に合った排泄支援を心がけている。	チェックシートを用いて排泄パターンを把握し、トイレの排泄を基本とし入居者に合った排泄支援を心がけている。	排泄チェック表により個別の排泄状況を把握し、それぞれに応じた排泄支援を心掛けている。トイレでの排泄を基本とし夜間もポータブルトイレを使用し、紙パンツを布パンツに変えたり、パットの種類を検討するなど、自立に向けた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	栄養バランス、栄養価に配慮し、毎朝乳製品の提供を行っている。また、毎朝体操を行い体を動かしたり、必要に応じて腹部にホットパックの使用やマッサージを行い便秘の予防に努めている。	栄養バランス、栄養価に配慮し、毎朝乳製品の提供を行っている。また、毎朝体操を行い体を動かしたり、必要に応じて腹部にホットパックの使用やマッサージを行い便秘の予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	原則的に週2回以上の入浴日を設けているが、状況に応じていつでも入浴が出来るようにしている。体調やプライバシーに配慮しながら入浴支援を行っている。	原則的に週2回以上の入浴日を設けているが、状況に応じていつでも入浴が出来るようにしている。体調やプライバシーに配慮しながら入浴支援を行っている。	基本は週2回以上としているが、入居者の希望や、汚染時など臨機応変に支援している。身体状況に応じ、清拭やシャワー浴をする場合もある。入浴を断られる時には、時間をずらしたり、関わる職員を変えるなど、誘導を工夫している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者一人ひとりの生活暦や状況に応じて安心して睡眠が取れるように支援している。	入居者一人ひとりの生活暦や状況に応じて安心して睡眠が取れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師や看護師と連携し安全に服薬が出来るようにしている。服薬の変更があった場合は、記録への記載と申し送りを行い確認できるようにしている。週1度、事業グループの薬剤師が訪問し情報交換や服薬指導をしてもらっている。	薬剤師や看護師と連携し安全に服薬が出来るようにしている。服薬の変更があった場合は、記録への記載と申し送りを行い確認できるようにしている。週1度、事業グループの薬剤師が訪問し情報交換や服薬指導をもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活暦を活かしその方にあつた役割を持って頂いている。毎月計画する行事や毎日のレクリエーションを行い楽しみや気晴らしができるように支援している。	生活暦を活かしその方にあつた役割を持って頂いている。毎月計画する行事や毎日のレクリエーションを行い楽しみや気晴らしができるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候の良いときは散歩に行ったり、行事計画の中にドライブの計画をしている。ドライブでは入居者の希望を取り入れ行き先を検討したりしている。	気候の良いときは散歩に行ったり、行事計画の中にドライブの計画をしている。ドライブでは入居者の希望を取り入れ行き先を検討したりしている。	計画的なドライブでは、花見や水族館に出掛けた。日常的な散歩は、近隣の道路沿いを歩き、住民との交流ができています。個々の希望に応じ買い物にも出かけています。また美容院への外出は家族の協力で行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近隣のスーパーなどで買い物が出る程度の金額は家族協力のもと自己管理をして頂いている。	近隣のスーパーなどで買い物が出る程度の金額は家族協力のもと自己管理をして頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	毎月ご家族に郵送する写真に、入居者自らコメントを書いて頂いており、ご家族も楽しみにされている。また、本人が希望されたり、状況に応じて電話や手紙の代筆を援助している。	毎月ご家族に郵送する写真に、入居者自らコメントを書いて頂いており、ご家族も楽しみにされている。また、本人が希望されたり、状況に応じて電話や手紙の代筆を援助している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には、入居者の作品があり、季節に応じた壁紙や塗り絵を飾り付けている。又、玄関先には行事の写真を飾り楽しみがもてるような空間作りに努めている。	共有空間には、入居者の作品があり、季節に応じた壁紙や塗り絵を飾り付けている。又、玄関先には行事の写真を飾り楽しみがもてるような空間作りに努めている。		リビングは明るく広い。車椅子が自由に移動でき、一角の畳の間ではゆったりとくつろぐことができる。キッチンに設けてある神棚や、玄関のお地藏様に手を合わせ心のよりどころとなるような配慮がある。ウッドデッキもあり、季節ごとに外気にふれる事が出来る。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースにはソファを設置したり和室など落ち着いて過ごせる場所が提供出来るようにしている。又、隣のフロアへの行き来も自由にしており、入居者同士の交流が出来るようにしている。	共有スペースにはソファを設置したり和室など落ち着いて過ごせる場所が提供出来るようにしている。又、隣のフロアへの行き来も自由にしており、入居者同士の交流が出来るようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には入居者の使い慣れた家具や希望の品を持ち込んで頂いたり、壁に写真やレクリエーションでの作品を飾ったりと居心地の良い環境作りに努めている。	居室には入居者の使い慣れた家具や希望の品を持ち込んで頂いたり、壁に写真やレクリエーションでの作品を飾ったりと居心地の良い環境作りに努めている。		入居時に使い慣れた家具を持参していただくよう説明しており、それぞれタンス、チェスト、テレビ等、希望の家具を持ち込まれている。仏壇のお茶を変えたり、居室の壁いっぱい写真に飾るなど個性的で落ち着いた空間となっている。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご家族や本人の同意のもと各居室にネームプレートを設置し、場所が分かるようにしている。トイレや浴室がそれぞれ分かるように明記している。	ご家族や本人の同意のもと各居室にネームプレートを設置し、場所が分かるようにしている。トイレや浴室がそれぞれ分かるように明記している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない